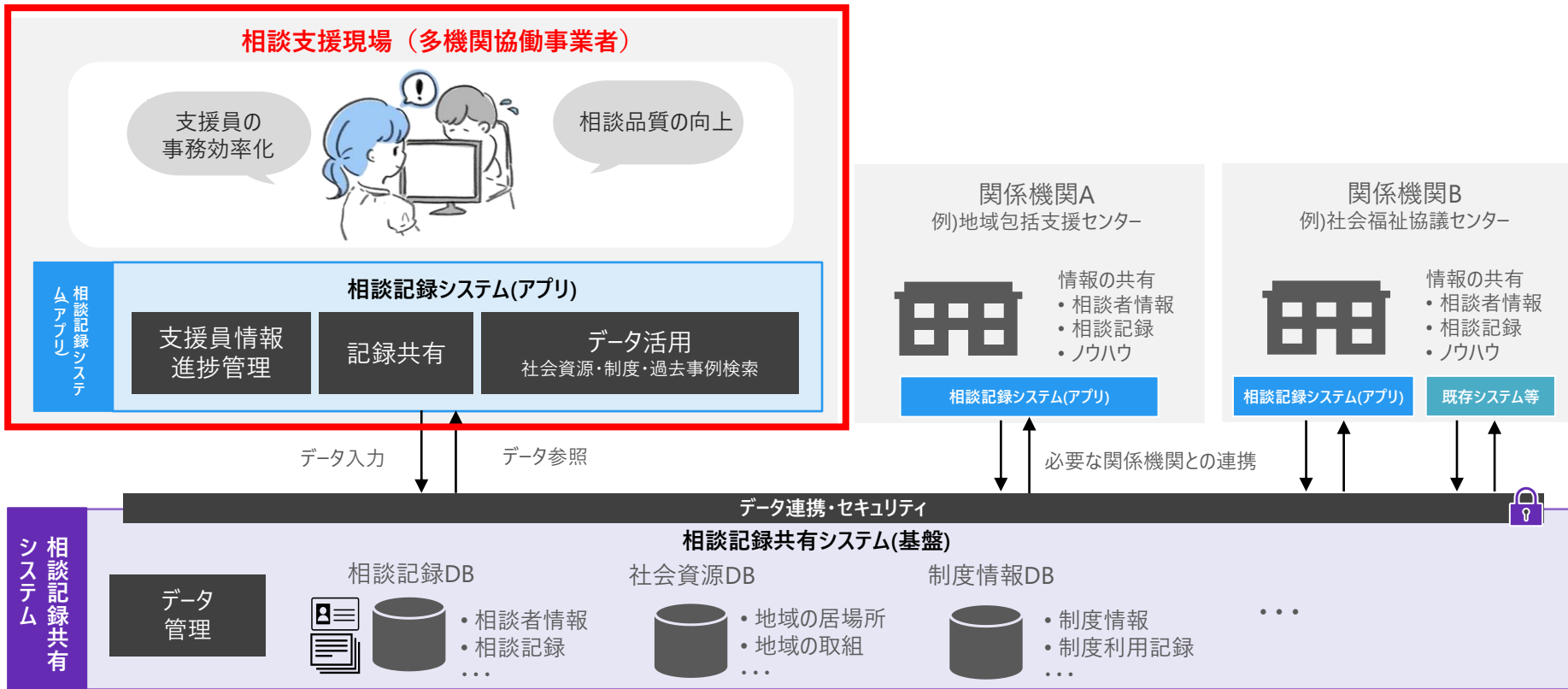


重層的支援体制整備事業に係るデジタル化 検討会3 当日配布資料
プロトタイプ概要

2024/9/3
株式会社 日立製作所

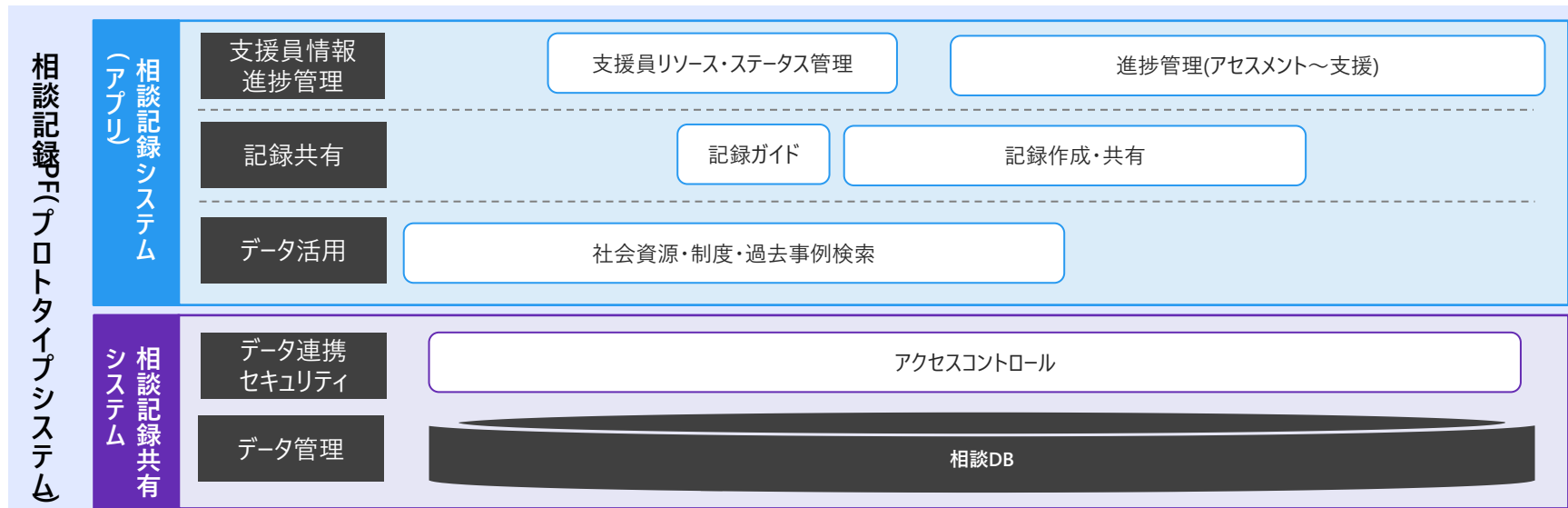
1. プロトタイプ全体像 (1/2)

- 前回の議論を踏まえ、相談記録システムと相談記録共有システムをプロトタイプとして作成予定です。



1. プロトタイプ全体像 (2/2)

- プロトタイプの機能は、それぞれ窓口相談において下記の図の様な使用を想定しています。



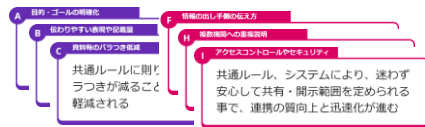
2. プロトタイプコンセプト

※太字：プロトタイプに反映予定の機能
細字：将来的に検討する機能



記録コンサルジュ

品質の良い記録を
必要な人に安全に共有し、
関係機関で円滑に認識を揃えられる



- ・ 世帯単位の記録
- ・ 共同編集・閲覧可能な共有画面
- ・ 記録へのコメント機能
- ・ 過去事例レコメンド（記録のガイド）
- ・ ジェノグラム・エコマップ作成・読み込み
- ・ アカウントごとのアクセス権限の設定
- ・ 情報の受け渡し時のコメント
- ・ 他システム連携
- ・ データのインポート・エクスポート機能

記録作業の時間短縮

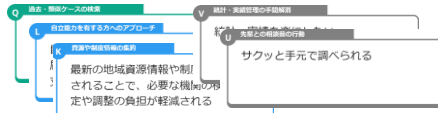
記録の質の均一化・向上

認識共有のためのコミュニケーション
時間や回数短縮



寄り添ってくれる
アドバイザー

データ活用による知識の共有と
調査や書類作成の負担軽減



- ・ 過去事例共有・検索機能
（類似事例を検索）
- ・ 社会資源共有・検索機能
} 生きた情報を検索
- ・ 制度照会機能
- ・ 統計の自由作成（簡単かつ柔軟な統計）
- ・ 事業効果検証機能(EBPM)

調査時間短縮

経験の差を埋められる

先輩に聞く準備ができる

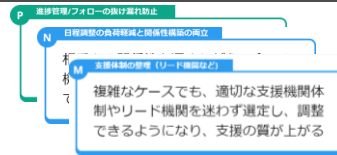
事務書類作成時間短縮

属人化を防止できる



バーチャル
マネージャー

相談者と支援者双方の状態を
把握し適切な対応を迅速に行える



- ・ ケース進捗管理
- ・ アラート機能
- ・ 支援員のスケジュール・工数管理
- ・ スケジュール調整
- ・ 支援者間のスケジュール共有
- ・ グループチャット

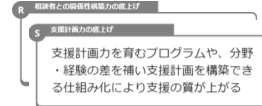
支援のフォローアップの漏れがなくなる

初期段階のアセスメントをチーム全体で分担し
支援者の負担を軽減



バーチャル
コーチ

人材育成と支援スキルの底上げ



- ・ AIアバターによるロールプレイ
- ・ 支援計画策定ロールプレイ
- ・ 過去事例共有・検索機能
（過去の対応から学ぶ）
- ・ ノウハウ共有（FAQ）
（ベテランのノウハウを学ぶ）

人材育成にかかるコスト・時間の削減

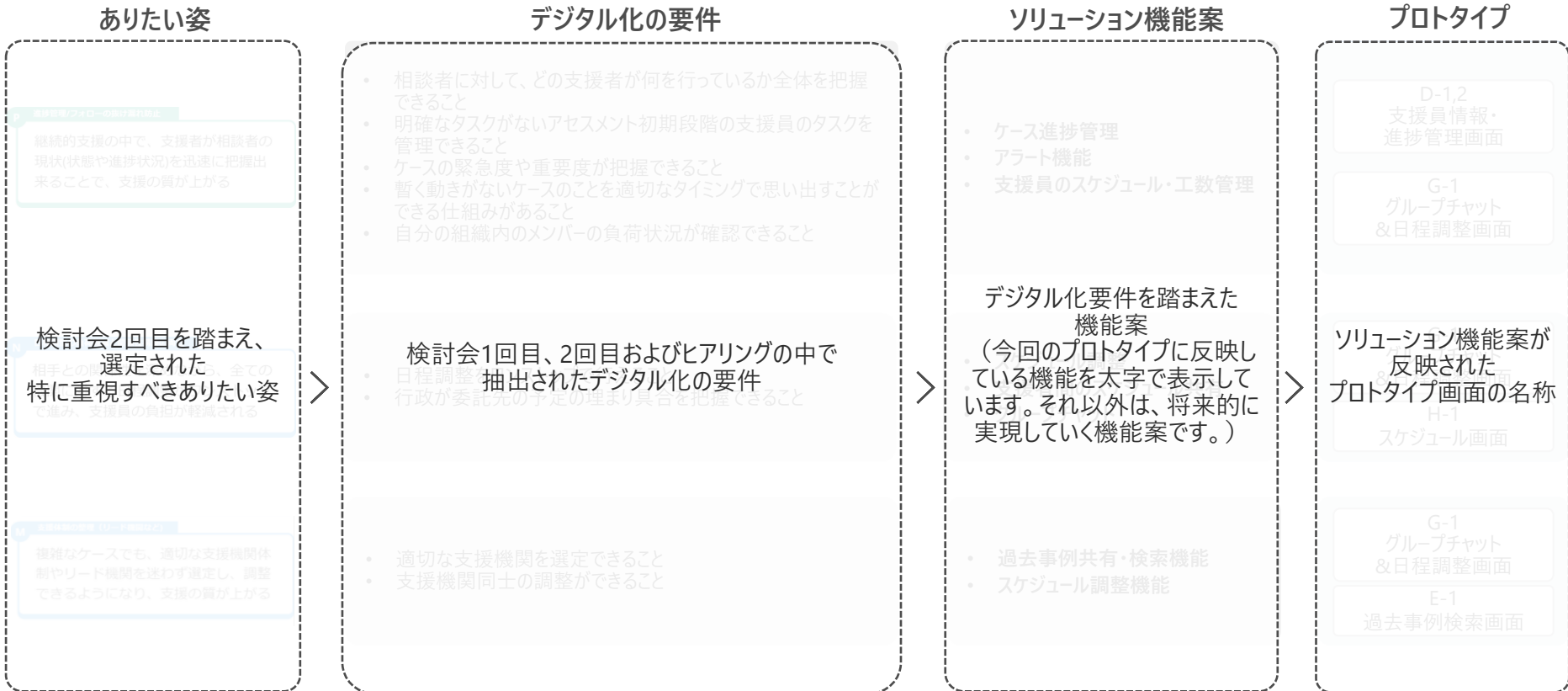
支援員のスキル向上による相談支援の質の向上

主要
機能

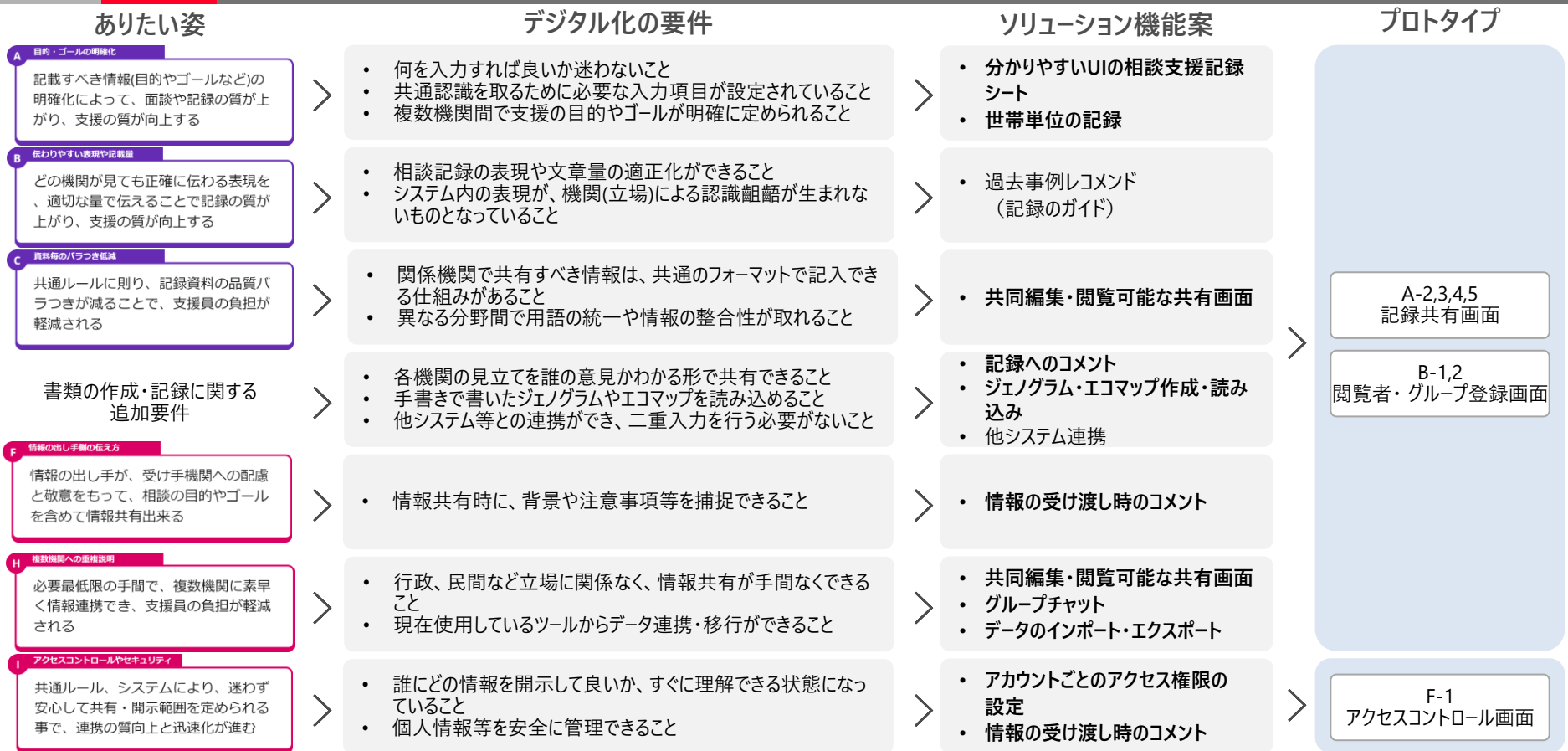
価値

3. ありたい姿と機能およびプロトタイプ画面の関係性

〈資料の見方〉



3-1. 品質の良い記録を必要な人に安全に共有し、関係機関で円滑に認識を揃えられる



3-2. データ活用による知識の共有と調査や書類作成の負担軽減

ありたい姿

デジタル化の要件

ソリューション機能案

プロトタイプ

Q 過去・類似ケースの検索
過去の関連資料や類似事例が簡単かつ素早く実施出来ることで、負担軽減と共に、迅速なフォローの実現に繋がる

- 過去の関連資料や過去の類似事例を検索できること
- 検索結果として相談支援の参考となる適切な情報が得られること
- 登録した記録を容易に事例化できること

- 過去事例共有・検索機能

E-1
過去事例検索画面

L 自立能力を有する方へのアプローチ
自立の見込みがある人に適切な情報を届けることで、相談者の自立を促し、支援員の負担が軽減される

- 相談者が、自分で問題を解決するために必要な情報を得られること

- AIチャットボット

別調達のAIチャットボットシステムとの連携を今後検討予定。

K 政策や制度情報の集約
最新の地域資源情報や制度情報が集約されることで、必要な機関の検索・選定や調整の負担が軽減される

- 最新の社会資源や制度の情報が素早くアクセスできること
- フォーマルな情報からインフォーマルな情報まで同じプラットフォーム上でアクセスできること
- 情報が常に更新され、最新の情報にアクセスできること

- 社会資源共有・検索機能
- 制度照会機能

C-1
資源・制度検索画面

V 統計・実績管理の手間削減
統計・実績を楽にしたい

- 統計対象となる情報が集約されていること
- 簡単な操作で統計・実績の集計を行えること
- 課題ごと事業ごとなど柔軟な統計を取れること
- 厚生労働省が要求する統計情報を提供できること

- 統計の自由作成機能
- 事業効果検証機能 (EBPM)

E-2,3
統計・実績表示画面※1

U 先輩との相談前の行動
サクッと手元で調べられる

- 情報が集約されていること
- 必要なときに必要な情報又はヒントを手軽に得られること

- 過去事例共有・検索機能
- 制度照会機能
- ノウハウ共有 (FAQ)

C-1
資源・制度検索画面
E-1
過去事例検索画面

3-3. 相談者と支援者双方の状態を把握し適切な対応を迅速に行える

ありたい姿

デジタル化の要件

ソリューション機能案

プロトタイプ

P 進捗管理/フォローの抜け漏れ防止

継続的支援の中で、支援者が相談者の現状(状態や進捗状況)を迅速に把握出来ることで、支援の質が上がる

- 相談者に対して、どの支援者が何を行っているか全体を把握できること
- 明確なタスクがないアセスメント初期段階の支援員のタスクを管理できること
- ケースの緊急度や重要度が把握できること
- 暫く動きがないケースのことを適切なタイミングで思い出すことができる仕組みがあること
- 自分の組織内のメンバーの負荷状況が確認できること

- ケース進捗管理
- アラート機能
- 支援員のスケジュール・工数管理

D-1,2
支援員情報・進捗管理画面

G-1
グループチャット & 日程調整画面

N 日程調整の負担軽減と関係性構築の両立

相手との関係性を深めながら、全ての機関に対する日程調整がワンストップで進み、支援員の負担が軽減される

- 日程調整をワンストップで行えること
- 行政が委託先の予定の埋まり具合を把握できること

- スケジュール調整
- 支援者間のスケジュール共有
- グループチャット

G-1
グループチャット & 日程調整画面

H-1
スケジュール画面

M 支援体制の整理 (リード機関など)

複雑なケースでも、適切な支援機関体制やリード機関を迷わず選定し、調整できるようになり、支援の質が上がる

- 適切な支援機関を選定できること
- 支援機関同士の調整ができること

- 過去事例共有・検索機能
- スケジュール調整機能

G-1
グループチャット & 日程調整画面

E-1
過去事例検索画面



3-4. 人材育成と支援スキルの底上げ

ありたい姿

デジタル化の要件

ソリューション機能案

プロトタイプ

R 相談者との関係性構築力の底上げ

支援員と相談者が二人三脚で支援を進めるためのスキルの育成により、支援の質が上がる



- 相談員の対人スキルとして「相談者の抱える根本課題を引き出す力」「信頼関係を構築する力」等を向上できること



- AIアバターによるロールプレイ

S 支援計画力の底上げ

支援計画力を育むプログラムや、分野・経験の差を補い支援計画を構築できる仕組み化により支援の質が上がる



- 誰でも支援計画を作成するスキルを身に付けられること
- 作成した支援計画は均質性を保てること



- アセスメントから支援計画策定までのロールプレイ
- 過去事例共有・検索機能
- ノウハウ共有 (FAQ)



E-1
過去事例検索画面